
ワイヤレスネットワークの設定

ユーザーガイド

FUJIFILM
Value from Innovation

SonoSite

SonoSite SII, SonoSite Edge II, SonoSite M シリーズ, SonoSite S シリーズ, SonoSite Edge, 及び SonoSite NanoMaxx は複数の法域にて、FUJIFILM Sonosite, Inc. の商標および登録商標として認められています。「Value from Innovation」は FUJIFILM Holdings America Corporation の登録商標です。

DICOM は National Electrical Manufacturers Association の登録商標です。

その他の商標は各々の登録者の財産です。

Part Number: P12501-04

Publication Date: July 2016

Copyright © 2016 FUJIFILM SonoSite, Inc. All Rights reserved.



目次

はじめに	1
表記規則	1
変更内容 P12501-04	2
超音波画像診断装置およびハードウェアの必要条件	3
超音波画像診断装置の接続	3
クライアント証明書	3
USBワイヤレス機器の接続	4
トラブルシューティング	5

はじめに

本書では、下記の超音波画像診断装置を使用してワイヤレスアーカイブを可能にするために、対応しているワイヤレスネットワーク構成を説明します。一般的なルーターの設定に関しては、ご使用のルーターに付属する取扱説明書を参照してください。

- ▶ 超音波画像診断装置 SonoSite X-Porte シリーズ
- ▶ 超音波画像診断装置 SonoSite M シリーズ
- ▶ 超音波画像診断装置 SonoSite S シリーズ
- ▶ 超音波画像診断装置 SonoSite Edge シリーズ
- ▶ 超音波画像診断装置 SonoSite NanoMaxx シリーズ

超音波画像診断装置を接続後、超音波画像診断装置の **Connectivity**（接続性）設定ページでロケーションを設定し、USB ワイヤレス機器を接続します。ロケーションの設定方法に関しては、該当する超音波画像診断装置のユーザーガイドに記載の「DICOM データの送受信」の項を参照してください。

超音波画像診断装置に関する情報は、該当する超音波画像診断装置のユーザーガイドを参照してください。

表記規則

本書では下記の表記規則に従っています：

- ▶ **警告** は、負傷や死亡の事故防止に必要な注意事項を示します。
- ▶ **注意** は、製品の保護に必要な注意事項を示します。
- ▶ **注** は、補足的な情報です。
- ▶ 番号またはアルファベットで示された手順は、その順番通りに実行しなければなりません。
- ▶ 中点（・）は箇条書きされた事項を示し、手順を示すものではありません。

記号については、該当する超音波画像診断装置のユーザーガイドの「ラベル上の図記号」を参照してください。

変更内容 P12501-04

新情報	内容
超音波画像診断装置およびハードウェアの必要条件	ワイヤレスに関する説明の更新

テクニカルサポート

本書に加え、必要な場合は下記までご連絡ください。

電話 (米国およびカナダ)	877-657-8118
電話 (米国およびカナダ以外の各国)	425-951-1330
ファックス	425-951-6700
電子メール	service@sonosite.com
ウェブサイト	www.sonosite.com
日本国内 選任製造販売業者	富士フイルムメディカル株式会社 TEL: 03 (6418) 7190 FAX: 03 (6418) 7598

Printed in the U.S.

超音波画像診断装置およびハードウェアの必要条件

- ▶ 超音波画像診断装置 SonoSite X-Porte シリーズ、超音波画像診断装置 SonoSite M シリーズ、超音波画像診断装置 SonoSite S シリーズ、超音波画像診断装置 SonoSite Edge シリーズ、超音波画像診断装置 SonoSite NanoMaxx シリーズ
- ▶ 802.11 USB ワイヤレス機器

警告

本装置と合わせて使用可能な USB ワイヤレス機器は、米国連邦通信委員会（FCC）が定義するモバイル機器として使用することを目的に設計された発信器です。USB ワイヤレス機器は患者またはオペレータの身体上に配置しないでください。また、USB ワイヤレス機器と患者またはオペレータとの間に最低 20cm の距離があることを確認してください。

注意

- ▶ 本装置と合わせて使用可能な USB ワイヤレス機器は、米国連邦通信委員会（FCC）が定義するモバイル機器として使用することを目的に設計された発信器です。USB ワイヤレス機器は患者またはオペレータの身体上に配置しないでください。また、USB ワイヤレス機器と患者またはオペレータとの間に最低 20cm の距離があることを確認してください。
- ▶ モバイルドッキングシステム-Mまたはモバイルドッキングシステム ライト II 使用時に USB ワイヤレス機器の損傷を防止するため、USB ワイヤレス機器の着脱は、超音波画像診断装置がモバイルドッキングシステムに装着されている時のみに行ってください。
- ▶ 操作環境および保管環境条件に関しては、ルーターの製造元の取扱説明書を参照してください。

超音波画像診断装置の接続

ワイヤレス方式でアーカイブするには、超音波画像診断装置を既存のネットワークに接続します。DICOM 設定では、DICOM サーバーを含む既存のワイヤレスネットワーク上のワイヤレスアクセスポイントが必要です。ネットワーク管理者にご相談ください。

クライアント証明書

クライアント証明書がなくても、接続は可能ですが、クライアント証明書はネットワーク上のセキュリティを向上します。証明書はネットワーク管理者から入手できます。証明書をインポートしたら、ロケーションを設定する際に証明書を選択します。

ワイヤレス証明書をインポートまたは消去する方法

超音波画像診断装置は Base64 および DER 暗号化形式、並びに次の種類のファイルに対応しています：
CER、PFX、PVK。

- 1 超音波画像診断装置の Connectivity（接続性）設定ページで、**Wireless Certificates** を選択します。
超音波画像診断装置に保存されている証明書のリストが表示されます。
- 2 下記いずれかを行います：
 - 証明書のインポート：
証明書を含む USB ワイヤレス機器を挿入します。インポートする前に、超音波画像診断装置に保存されている証明書と USB ワイヤレス機器の証明書の合計数が 20 を超えないこと、またはメモリ容量で 200K を超えないことを確認してください。必要に応じて証明書を消去してください。確認後、スクリーンメニューから **Import** を選択します。
 - 証明書の消去：消去する証明書を選択し、**Delete** を選択します。
- 3 スクリーンメニューから **Back** を選択します。
- 4 スクリーンメニューから **Done** を選択します。
- 5 [超音波画像診断装置を再起動します。](#)

USB ワイヤレス機器の接続

超音波画像診断装置でロケーションを設定した後、USB ワイヤレス機器を接続します。接続された USB ワイヤレス機器は、超音波画像診断装置からネットワークへ無線信号を発信します。

USB ワイヤレス機器を接続する方法

- ❖ USB ワイヤレス機器キットに同梱されている取扱説明書に従い、USB ワイヤレス機器を挿入します。
 - ▶ (SonoSite S シリーズ 又は SonoSite X-Porte シリーズ) 超音波画像診断装置の側面に装備されている USB ポート。
 - ▶ (SonoSite M シリーズ、SonoSite Edge シリーズ、又は SonoSite NanoMaxx シリーズ) 超音波画像診断装置に装備されている USB ポート。

USB ワイヤレス機器のドライバは既にインストールされているため、超音波画像診断装置は自動的に USB ワイヤレス機器を認識します。

トラブルシューティング

超音波画像診断装置をワイヤレスネットワークに接続する過程で問題が生じた場合、[Table 1, “Troubleshooting” on page 5](#) の解決策を行ってください。解決できない場合には、当社又は製造販売業までお問い合わせください。

表 1: トラブルシューティング

問題	解決案
超音波画像診断装置をワイヤレスネットワークに接続することができません。	<ul style="list-style-type: none">❖ ネットワーク情報を確認します。<ul style="list-style-type: none">▶ 超音波画像診断装置の画面のシステムステータス部分に下記のアイコンが表示されていることを確認します。<ul style="list-style-type: none">▶ ワイヤレス ▶ 超音波画像診断装置 接続完了 • 超音波画像診断装置で Network Status（ネットワークステータス）設定ページを表示します。同ページでは、接続に関する一般情報が 3 行、ワイヤレス接続が完了している場合には更に情報が 5 行表示されます。
超音波画像診断装置が認証しません。 ワイヤレスアイコンが画面上に表示されません。	<ul style="list-style-type: none">❖ 下記を確認します。<ul style="list-style-type: none">▶ 選択したアクセスポイントと超音波画像診断装置の間で通信が確立されていることを確認します。超音波画像診断装置に設定されているネットワーク名が、アクセスポイントの network name (SSID) と同一であることを確認します。デフォルトのネットワーク名は SONOSITE です。ネットワーク名のフィールドでは、大文字と小文字を区別して認識します。▶ WEP または WPA-PSK を使用している場合、アクセスポイントと超音波画像診断装置との間で WEP キーまたは共有 WPA/WPA2 キーが一致していることを確認します。これらのキーのフィールドでは、大文字と小文字を区別して認識します。▶ Network Status（ネットワークステータス）設定ページでは、接続が完了しているように表示されていても、WEP キーが正しくない場合には、DHCP アドレスを得られないことがあります。▶ セキュリティの選択で 802.1x RADIUS を選択した場合、アクセスポイントの電源がオンになっていること、802.1x セキュリティを可能にするよう正しく設定されていること、およびアクセスポイントと認証サーバーの共有秘密キーが一致していることを確認します。▶ サーバーの PING ユーティリティを使用し、認証サーバーが作動していて、アクセスポイントと通信できる状態にあることを確認します。

表 1: トラブルシューティング

問題	解決案
正しいロケーションを選択しても、超音波画像診断装置がワイヤレスアイコンを表示しません。	<ol style="list-style-type: none"> 1 超音波画像診断装置の電源をオフにします。 2 USB ワイヤレス機器を抜き取ります。 3 下記を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> • 選択したロケーションに関する全てのワイヤレス設定が正しいこと。 • 選択したワイヤレス証明書が Base64 形式であること。 • 超音波画像診断装置の日付および時刻の設定が正しいこと。 4 USB ワイヤレス機器を挿入します。 5 超音波画像診断装置を再起動します。
ワイヤレスアイコンが表示されているにもかかわらず、DICOM と通信できません。	DICOM 設定が正しく行われていることを確認します。詳細は、該当する超音波画像診断装置のユーザーガイドに記載の「DICOM データの送受信」の項を参照してください。
ワイヤレス証明書をインポートできません。	❖ パーソナルコンピュータ上で、USB ストレージ機器にワイヤレス証明書が保存されていることを確認します。



SonoSite

選任製造販売業者：
富士フイルムメディカル株式会社
〒106-003 東京都港区西麻布 2-26-30
TEL: 03 (6418) 7190

外国特例認証取得者：
FUJIFILM SonoSite, Inc. (米国)

一般的名称	汎用超音波画像診断装置 (40761000)		
医療機器のクラス	管理医療機器、特定保守管理医療機器		
販売名	SonoSite X-Porte シリーズ	医療機器認証番号	225ADBZI00146000
	SonoSite M シリーズ		219ADBZI00197000
	SonoSite S シリーズ		220ADBZI00071000
	SonoSite Edgeシリーズ		224ADBZI00053000
	SonoSite NanoMaxxシリーズ		221ADBZI00091000

P12501-04

